

1. 派遣事業名 第21回ウォンチョンカップ2016派遣事業
2. 派遣期間 出 国 平成28年2月22日 12時30分 成田発 (OZ101)
 帰 国 平成28年2月28日 12時10分 成田着 (OZ104)
3. 被派遣者
- | | | | |
|-------|-----------|-------|----------------|
| 団 長 | 中 口 直 人 | 愛 知 県 | 日小連強化部長 |
| コ ー チ | 大 堀 麻 紀 | 福 島 県 | 日小連強化部員 |
| 選 手 | 武 井 凜 生 | 東 京 都 | 青梅市立藤橋小学校6年 |
| 同 | 井 上 翔 太 | 福 井 県 | 福井市立社南小学校6年 |
| 同 | 吉 田 翼 | 北 海 道 | 札幌市立北野平小学校6年 |
| 同 | 森 口 航 士 朗 | 熊 本 県 | 水俣市立水俣第一小学校6年 |
| 同 | 野 口 翔 平 | 東 京 都 | 西東京市立向台小学校6年 |
| 同 | 小 原 輝 | 東 京 都 | 西東京市立柳沢小学校6年 |
| 同 | 杉 山 薫 | 茨 城 県 | つくば市立松代小学校6年 |
| 同 | 梅 田 莉 々 子 | 愛 知 県 | 愛知教育大付属岡崎小学校6年 |
| 同 | 大 澤 陽 奈 | 東 京 都 | 西東京市立芝久保小学校6年 |
| 同 | 小 野 涼 奈 | 群 馬 県 | 桐生市立桜木小学校6年 |
| 同 | 久 湊 菜 々 | 愛 知 県 | 名古屋市立菊住小学校6年 |
| 同 | 石 田 萌 | 愛 知 県 | 阿久比町立草木小学校6年 |

4. 大会名 第21回ウォンチョンカップ2016

- 1) 開催期間 平成28年2月23日～2月27日
- 2) 開催国及び開催都市(会場名) 大韓民国 大田広域市 (ハンバツ体育館)
- 3) 大会参加国数 3ヶ国
- 4) 日本選手(チーム)の成績

○個人戦

男子単 1回戦

武 井 凜 生 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-10 \\ 17-5 \end{array} \right\}$ 0 ビョン ヨジン (韓国)

井 上 翔 太 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-3 \\ 17-1 \end{array} \right\}$ 0 ゴ ジハン (韓国)

男子複 1回戦

野 口 翔 平 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-9 \\ 17-12 \end{array} \right\}$ 0 CHUANG CHIACHUN (台北)

小 原 輝 KAO YIMIN

吉田 翼	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-5 \\ 17-5 \end{array} \right\}$	0	パク ジンウ
森口 航士朗				(韓国)
				イ ヒョンプ

女子単 1回戦

大澤 陽奈	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-13 \\ 17-8 \end{array} \right\}$	0	タク ジョンウン (韓国)
-------	---	---	---	---------------

女子複 1回戦

久湊 菜々	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-6 \\ 17-7 \end{array} \right\}$	0	オ ヨンズ
石田 萌				(韓国)
				キム ミンヒ

梅田 莉々子	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-11 \\ 17-15 \end{array} \right\}$	0	チョ ユナ
小野 涼奈				(韓国)
				ホン ユビン

男子単 2回戦

武井 凜生	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-10 \\ 17-10 \end{array} \right\}$	0	クオン ジュンヒョク (韓国)
-------	---	--	---	-----------------

井上 翔太	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-15 \\ 17-6 \end{array} \right\}$	0	ハン ジョンウク (韓国)
-------	---	---	---	---------------

男子複 2回戦

野口 翔平	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-9 \\ 17-8 \end{array} \right\}$	0	ジョン ウラム
小原 輝				(韓国)
				キム ジンギュ

吉田 翼	0	$\left\{ \begin{array}{l} 12-14 \\ 14-17 \end{array} \right\}$	2	ジャン ジュンヒ
森口 航士朗				(韓国)
				イ ジュンミン

女子単 2回戦

杉山 薫 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-3 \\ 17-5 \end{array} \right\}$ 0 チェ ボラ (韓国)

大澤 陽奈 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-8 \\ 17-7 \end{array} \right\}$ 0 キム ソヒョン (韓国)

女子複 2回戦

久湊 菜々 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-6 \\ 17-6 \end{array} \right\}$ 0 イ ダワン (韓国)
石田 萌

梅田 莉々子 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-4 \\ 17-4 \end{array} \right\}$ 0 ウォン ジウン (韓国)
小野 涼奈

男子単 準々決勝

武井 凜生 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-6 \\ 15-17 \\ 17-10 \end{array} \right\}$ 1 パク スンミン (韓国)

井上 翔太 0 $\left\{ \begin{array}{l} 8-17 \\ 13-17 \end{array} \right\}$ 2 イン ヒョンミン (韓国)

男子複 準々決勝

野口 翔平 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-9 \\ 17-8 \end{array} \right\}$ 0 ユ サンウ (韓国)
小原 輝

女子単 準々決勝

杉山 薫 0 $\left\{ \begin{array}{l} 8-17 \\ 9-17 \end{array} \right\}$ 2 キム エリン (韓国)

大澤 陽奈 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-5 \\ 17-5 \end{array} \right\}$ 0 キム ナヒョン (韓国)

女子複 準々決勝

久湊 菜々 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-10 \\ 17-15 \end{array} \right\}$ 0 キム ナリョン (韓国)
石田 萌 チェ ヒョビン

梅田 莉々子 0 $\left\{ \begin{array}{l} 7-15 \\ 15-17 \end{array} \right\}$ 2 チョン タヨン (韓国)
小野 涼奈 ゴン ヨジン

男子単 準決勝

武井 凜生 1 $\left\{ \begin{array}{l} 8-17 \\ 17-14 \\ 11-17 \end{array} \right\}$ 2 キム テリン (韓国)

男子複 準決勝

野口 翔平 2 $\left\{ \begin{array}{l} 19-17 \\ 15-17 \\ 17-15 \end{array} \right\}$ 1 ミン ホンキ (韓国)
小原 輝 キム ミンジン

女子単 準決勝

大澤 陽奈 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-6 \\ 17-0 \end{array} \right\}$ 0 イ ジウオン (韓国)

女子複 準決勝

久湊 菜々 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-15 \\ 20-18 \end{array} \right\}$ 0 ゴン チョン (韓国)
石田 萌 パク ソヨン

男子複 決勝

野口 翔平 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-15 \\ 14-17 \\ 25-23 \end{array} \right\}$ 1 キム グンヒ (韓国)
小原 輝 ユ ジュンソ

女子単 決勝

大澤 陽奈 2 $\left\{ \begin{array}{l} 18-16 \\ 17-12 \end{array} \right\}$ 0 キム エリン (韓国)

女子複 決勝

久湊 菜々 0 $\left\{ \begin{array}{l} 15-17 \\ 12-17 \end{array} \right\}$ 2 チョン タヨン (韓国)
石田 萌 ゴン ヨジン

○団体戦

女子1回戦 日本 (3-0) 慶南選抜 (韓国)

単1 杉山 薫 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-9 \\ 17-14 \end{array} \right\}$ 0 キム ミス

単2 大澤 陽奈 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-11 \\ 17-4 \end{array} \right\}$ 0 キム ミンソ

単3 久湊 菜々 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-14 \\ 17-14 \end{array} \right\}$ 0 リ ボヒョン

単4 梅田 莉々子 $\left\{ \begin{array}{l} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$ ノ ジミン

単5 小野 涼奈 $\left\{ \begin{array}{l} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$ イ ユンビン

男子2回戦 日本 (3-1) 大田選抜 (韓国)

単1 武井 凜生 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-7 \\ 17-13 \end{array} \right\}$ 0 ミン ホンギ

単2 井上 翔太 2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-8 \\ 17-7 \end{array} \right\}$ 0 ノ ヒチャン

単3 吉田 翼 1 $\left\{ \begin{array}{l} 17-13 \\ 13-17 \\ 9-17 \end{array} \right\}$ 2 イ ソンジェ

単4	森口航士朗	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-14 \\ 17-13 \end{array} \right\}$	0	ヤン ジウン
単5	野口翔平		$\left\{ \begin{array}{l} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$		キム ミンジン

男子準々決勝 日本 (3-1) 仁川選抜 (韓国)

単1	武井凜生	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-9 \\ 17-15 \end{array} \right\}$	0	ユ サンウ
単2	井上翔太	2	$\left\{ \begin{array}{l} 18-16 \\ 17-12 \end{array} \right\}$	0	イ ヒョンビン
単3	野口翔平	0	$\left\{ \begin{array}{l} 17-19 \\ 14-17 \end{array} \right\}$	2	チョ ムンヒ
単4	吉田翼	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-8 \\ 17-5 \end{array} \right\}$	0	ナ ジョンミン
単5	森口航士朗		$\left\{ \begin{array}{l} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$		ナ スンウ

女子準々決勝 日本 (3-0) 京畿選抜 (韓国)

単1	杉山薫	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-8 \\ 17-5 \end{array} \right\}$	0	チョ ユナ
単2	大澤陽奈	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-7 \\ 17-9 \end{array} \right\}$	0	キム ナリョン
単3	小野涼奈	2	$\left\{ \begin{array}{l} 17-9 \\ 18-16 \end{array} \right\}$	0	パク スル
単4	梅田莉々子		$\left\{ \begin{array}{l} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$		チェ ヒョピン

単5 石田 萌 $\left\{ \begin{array}{c} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$ チェ ボラ

男子準決勝 日 本 (3-2) 釜山選抜 (韓国)

単1 井上 翔太 1 $\left\{ \begin{array}{c} 10-17 \\ 17-15 \\ 14-17 \end{array} \right\}$ 2 キム ビョンジェ

単2 武井 凜生 2 $\left\{ \begin{array}{c} 17-8 \\ 17-1 \end{array} \right\}$ 0 キム ジンギユ

単3 小原 輝 0 $\left\{ \begin{array}{c} 5-17 \\ 10-17 \end{array} \right\}$ 2 パク スンミン

単4 森口 航士朗 2 $\left\{ \begin{array}{c} 17-7 \\ 17-9 \end{array} \right\}$ 0 ジョン ヒョンス

単5 吉田 翼 2 $\left\{ \begin{array}{c} 20-18 \\ 6-17 \\ 17-7 \end{array} \right\}$ 1 ジョン ウラム

女子準決勝 日 本 (3-0) 台 北

単1 杉山 薫 2 $\left\{ \begin{array}{c} 17-2 \\ 17-3 \end{array} \right\}$ 0 CHEN MEI CHEN

単2 大澤 陽奈 2 $\left\{ \begin{array}{c} 17-4 \\ 17-3 \end{array} \right\}$ 0 CHANG HSUN YIN

単3 梅田 莉々子 2 $\left\{ \begin{array}{c} 17-9 \\ 17-2 \end{array} \right\}$ 0 CHOU KO YU

単4 石田 萌 $\left\{ \begin{array}{c} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$ LIN CHIEN YU

単5 小野 涼奈 $\left\{ \begin{array}{c} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$ CHEN YU CHEN

男子決勝		日 本 (3-0)	全南選抜 (韓国)
単1	武井 凜生	2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-9 \\ 17-6 \end{array} \right\}$	0 パク ソンジュ
単2	井上 翔太	2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-10 \\ 17-14 \end{array} \right\}$	0 キム ハビン
単3	森口 航士朗	2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-9 \\ 17-5 \end{array} \right\}$	0 キム ミョンイン
単4	吉田 翼	$\left\{ \begin{array}{l} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$	ジョン ミンチェ
単5	野口 翔平	$\left\{ \begin{array}{l} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$	シン チェホ

女子決勝		日 本 (3-1)	全南選抜 (韓国)
単1	杉山 薫	2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-6 \\ 17-4 \end{array} \right\}$	0 ソ スビン
単2	大澤 陽奈	2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-12 \\ 17-6 \end{array} \right\}$	0 ゴン ヨジン
単3	石田 萌	0 $\left\{ \begin{array}{l} 11-17 \\ 9-17 \end{array} \right\}$	2 チョン タヨン
単4	梅田 莉々子	2 $\left\{ \begin{array}{l} 17-11 \\ 12-17 \\ 17-15 \end{array} \right\}$	1 パク ジョンウン
単5	小野 涼奈	$\left\{ \begin{array}{l} \text{打ち切り} \end{array} \right\}$	ホ ゴンヒ

5) 事業の成果

イ) 現地でのコンディショニング

22日に韓国に到着。仁川空港から貸切バスで大田広域市内のホテルまで3時間かけて移動した。現地はかなり冷え込んでいたものの、ホテル・大会会場ともに暖房設備が整っていたため、快適に過ごすことができた。食事はホテルで2食とお弁当が用意されたが、量が少なくアスリートの食事と考えると物足りなかったため、補食等を購入し対応した。今後、改善されることを期待する。大会前半環境の変化に戸惑いを見せる選手もいたが、日が経つにつれ徐々に気候・食事にも慣れ、大きくコンディションを崩す選手は出なかった。

ロ) 試合経過と戦評

大会前半23日～25日は個人戦が行われた。

男子シングルスは、武井選手が準決勝に進出し積極的に仕掛けるゲームを展開したが、もう一步波に乗ることができず敗退、3位という結果で終わった。井上選手は相手の早い展開についていくことができず、自らの得意とする攻撃力を発揮するに至らずベスト8止まり。

女子シングルスは、大澤選手が全試合を通して攻守にまとまりがあり、攻撃的なプレーで圧倒的な優勝を果たした。特にレシーブの安定感が増したことが勝因といえる。杉山選手は、クレバーなプレーで準々決勝まで進んだもののクリアーで押されリズムを掴めないまま敗退してしまった。

男子ダブルスは、野口・小原組が準決勝・決勝ともファイナルの接戦となり、攻め込まれ幾度となくピンチを迎えたが、攻撃的レシーブと力強いドライブで反撃し見事な優勝を飾った。森口・吉田組は、サーブ周りでのミスや、受け身のラリーが多く2回戦敗退。

女子ダブルスは、久湊・石田組がシンプルでスピード感のあるドライブ戦を制して決勝に進出したものの、決勝ではつなぎにいったドライブをことごとく詰められ引いてしまう場面が多く惜しくも準優勝。梅田・小野組はシングルス的なカットやネットプレーが多く、そこを突かれて持ち味を発揮できぬまま2回戦敗退となった。

個人戦終了後～27日にかけて行われた団体戦は、前回大会まで2複3単であったが、開催国(韓国)ジュニア層のシングルス強化を目的として今大会から5単に変更となった。

男子団体は、順調に準決勝まで勝ち上がり釜山選抜との戦い、1-2と王手をかけられて苦しい展開となったが、コートに立つ選手・サポートする選手が一体となり逆転勝利を収めた。勢いに乗り迎えた決勝では、フィジカル・パワー・テクニクとも相手を大きく上回り、圧倒的な展開で優勝を果たした。

女子団体は、全体を通じてパワーでは若干劣っていたかもしれないが、スピード・アジリティー・テクニク等で優位に立っていた。また選手たちがお互い声を掛け合い、終始明るい雰囲気の中で戦うことができた。決勝でのみ1ポイントを落とすものの、その他は危なげない展開で優勝を果たした。

今回、団体決勝の様子が韓国のテレビで生中継された。メディアに囲まれ独特な雰囲気の中でのゲームということもあり、かなり緊張した面持ちの選手もいたようであるが、この環境下で勝利できたことは必ずや選手たちの大きな自信になるものと確信する。

ハ) 競技の総評と反省

今大会を振り返り、全体的にフィジカルやスタミナはほぼ互角であり、スピード・アジリティー・

テクニックといった部分では日本選手が上回っていたと思う。若干、劣勢になった場面での間の取り方などの課題を残すが、年齢・経験とともに徐々に身についてくる要素であり、次なるステージで克服すべき課題であると考えます。

最後にプレースタイルを見てみると、韓国の選手たちは自国のスタイルが確立されているのに対し、日本の選手にはいい意味での個性がある。他国出身で日本のコーチとして活躍されている方たち（韓国・インドネシア等）の力も借りながら、今後個々に応じたスタイルでの強化を更に目指していくことが重要だと思う。

5. 報告書作成年月日 平成28年3月7日
6. 報告書作成者 大堀 麻紀 ㊞